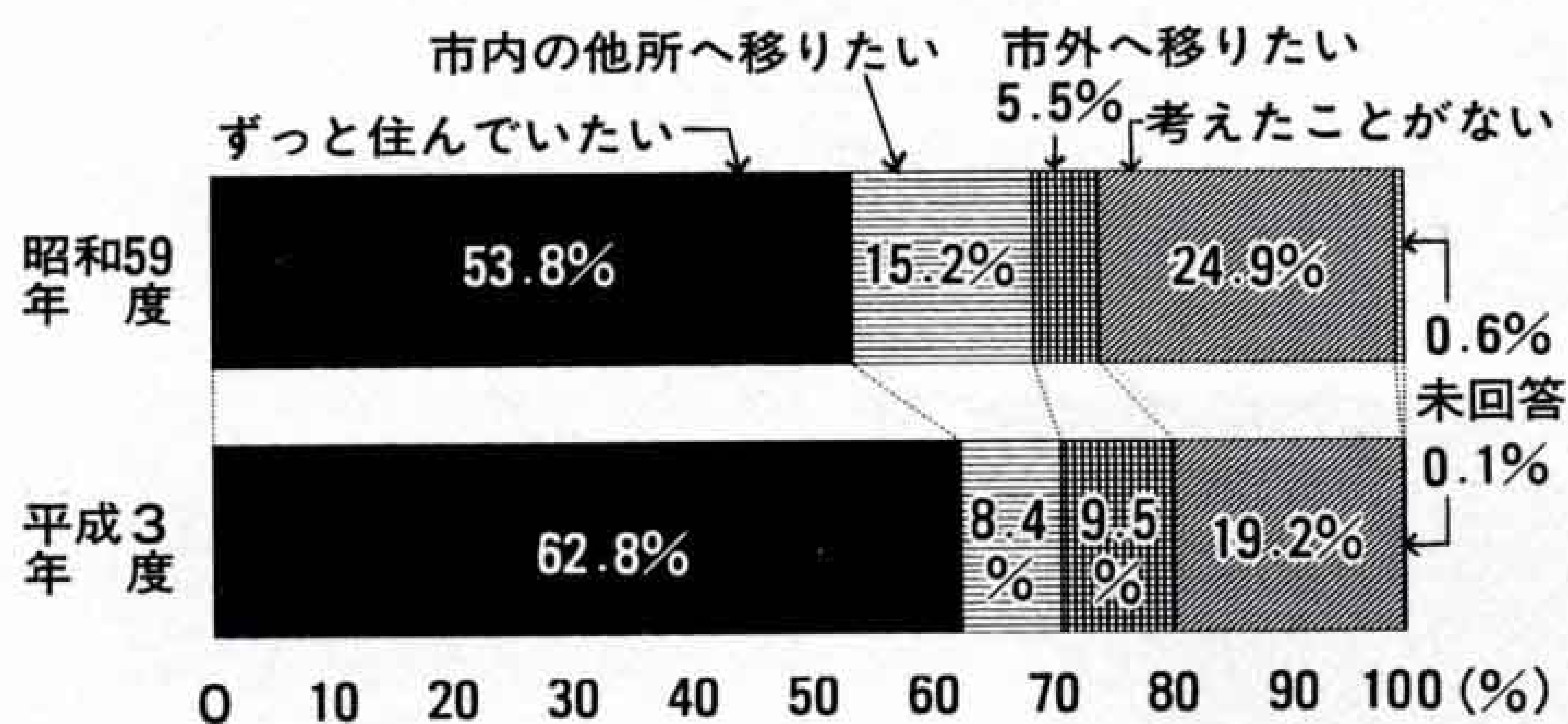
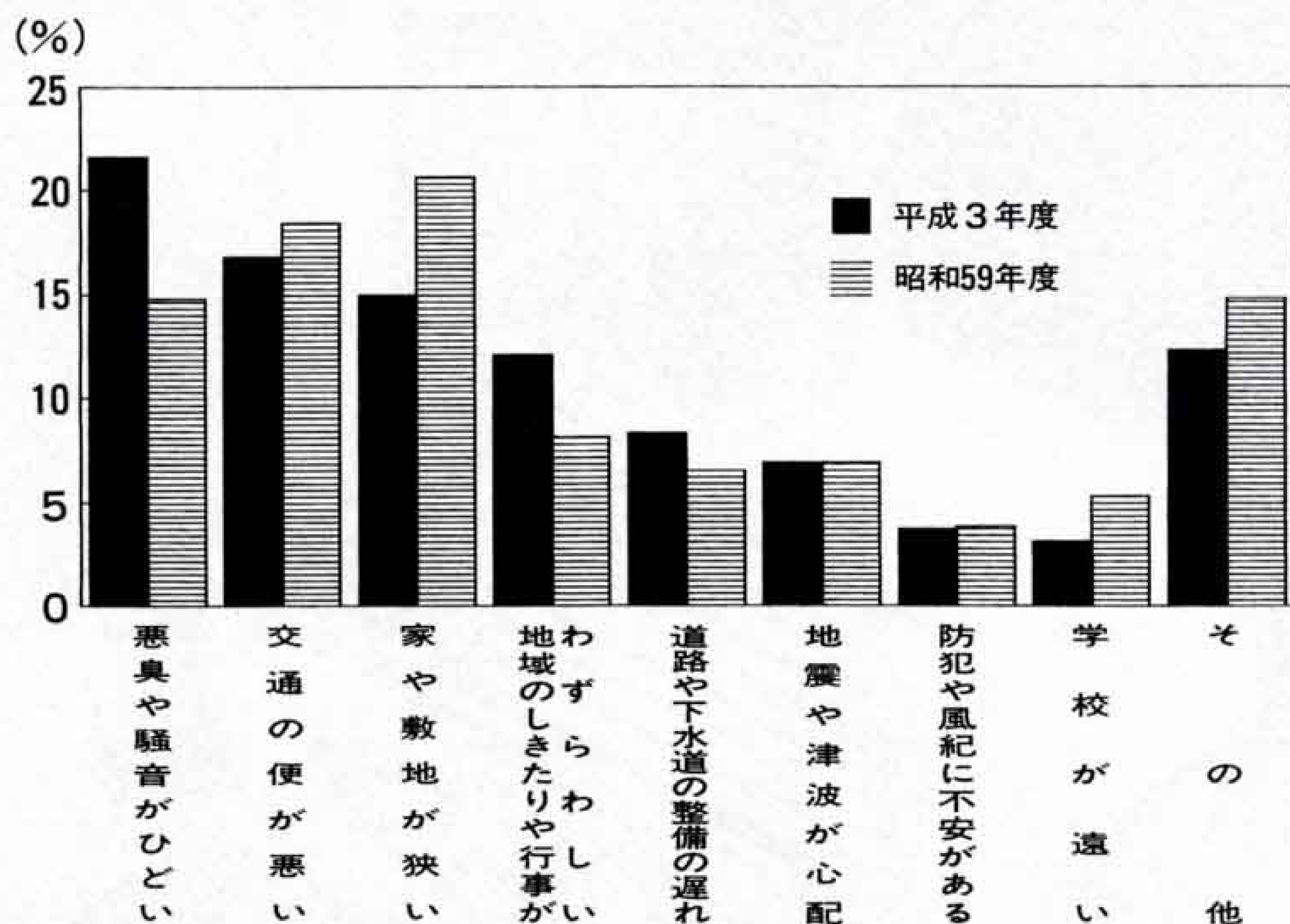


問1 あなたは、富士市にこれからも
住み続けたいと思いますか。



たしね富士の街



問1-1 問一で「移りたい」と答えた方に
伺います。その理由は何ですか。

★回収結果★
 ◇調査対象者 3,000人
 ◇回答者 1,458人
 ◇回答率 48.6%
 *結果は百分率で表示しました。表示した百分率は小数点以下第2位を四捨五入してありますので、合計が100にならない場合があります。

テーマ 富士市に住んで私はこう思う

ことし七月に行いました「第二十回世論調査」の結果がまとまりましたので、そのあらましをお知らせします。
 今回のテーマは「私は富士市に住んでこう思う」と『生涯学習』についてです。調査は住民基本台帳から無作為抽出した三千人の市民の皆さんにお願いしました。

第20回 世論調査

市民の皆さんが、暮らし向きや市政について普段感じていることを率直にお尋ねするもので、概ね五年ごとに調査を行います。

この町にずっと
住んでいたい

問-1 あなたは、富士市にこれからも住み続けたいと思いますか。

回答は、「住んでいたい」が六二・八%と過半数を超え、昭和五十九年度の前回調査を九%上回っています。

また、これに「考えたことがない」の一九・二%を加えると、全体の八二%が富士市への定住を望んでいることになります。

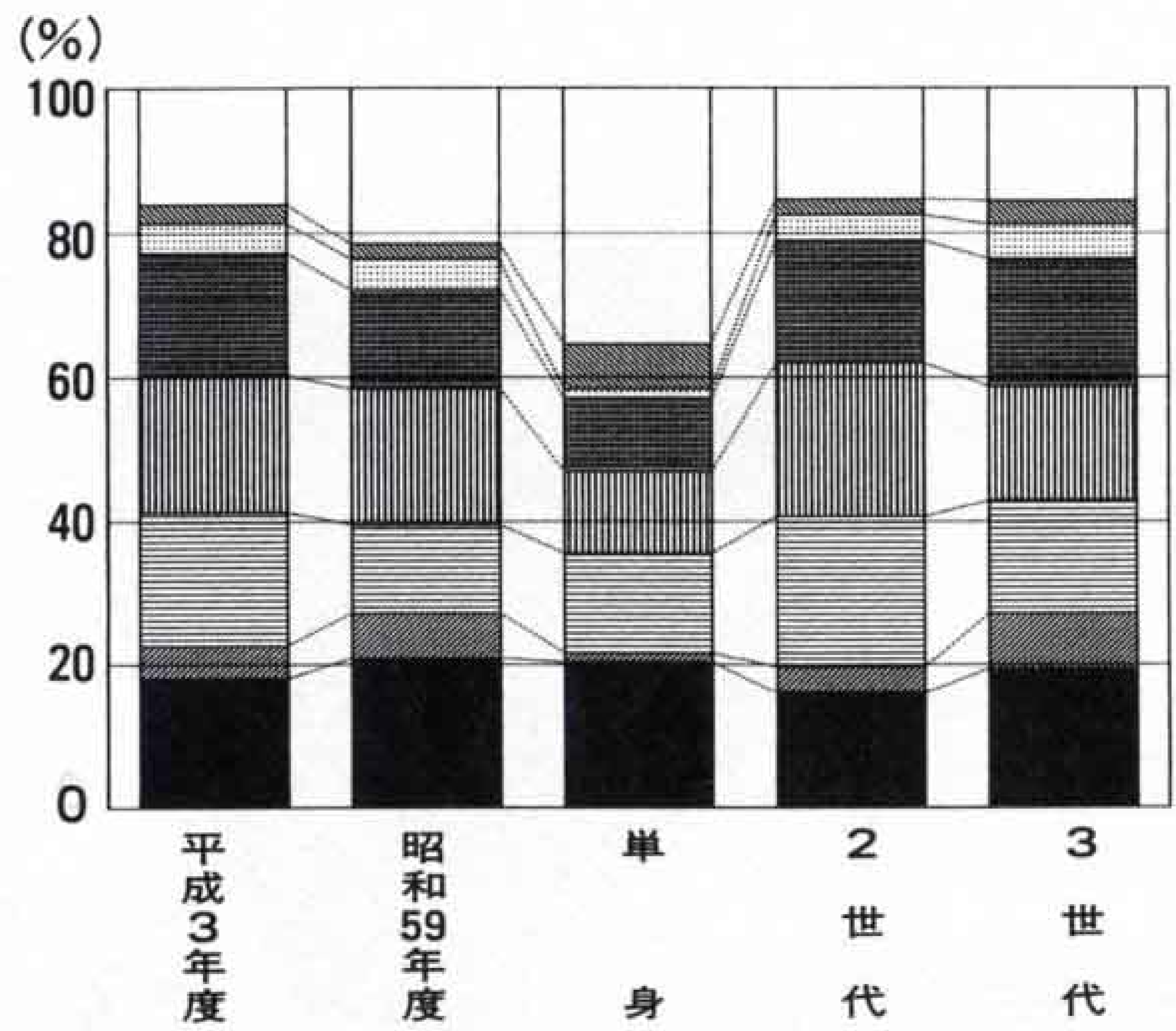
悪臭や騒音
はキライ

問1-1 問一で「移りたい」と答えた方に伺います。その理由は何か。(複数回答)

回答は「悪臭や騒音」二二・六%、次いで「交通の便が悪い」一

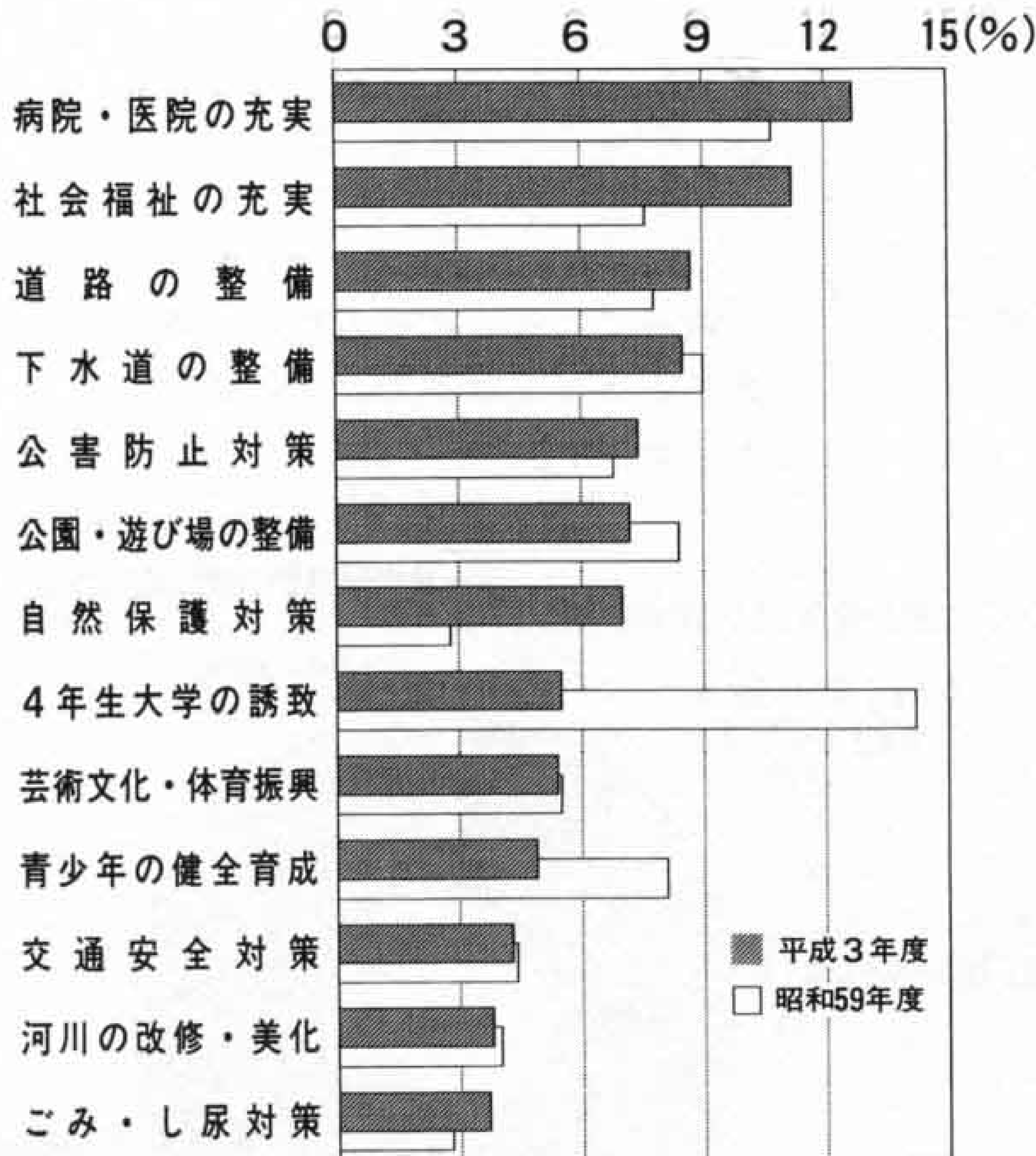
【家族構成別】

- 直接市役所へ
- ▨ 地区の市職員
- ▧ 市長への手紙や電話
- ▩ 自治会を通す
- 市議会議員
- ▨ 各種団体へ
- ▧ 新聞へ投書
- わからないその他

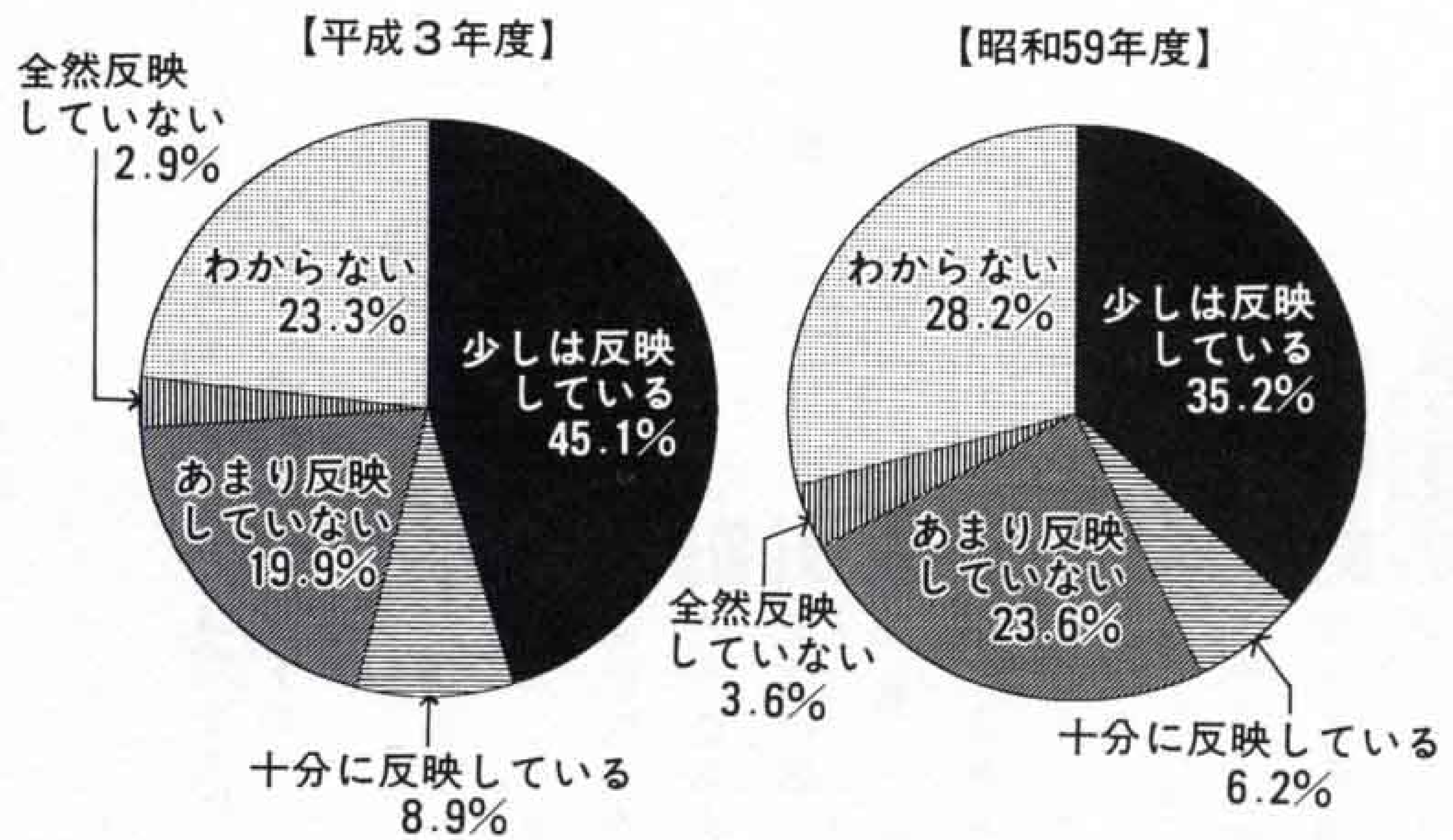


問3 あなたは、市政に対する意見や要望、苦情はどのようにして伝えますか。

問4 今後あなたが市に特に力を入れてほしいものは何ですか。



ずっと住んでい



問2 富士市政は、市民の意見を十分に反映していると思えますか。

六・八%、「家の敷地が狭い」一五%の順となっております。これを前回調査と比較すると、「悪臭や騒音」が六・八%ふえ、前回の三位から今回は一位となっております。

もっと私たちの意見を聞いて

問-2

富士市政は、市民の意見を十分に反映していると思えますか。

回答は「少しは反映している」が四五・一%、「十分に反映している」が八・九%で、両者を合わせると五四%となり、「反映している」が過半数を超えました。これは、前回調査の四一・四%を大きく上回っています。

自分でしっかり意思表示

問-3

あなたは、市政に対する意見や要望、苦情はどのようにして伝えますか。

回答は「自治会を通す」一九%、「市長への手紙や電話」一八・五%、「直接市役所へ」一八%、「市議会議員に頼む」一七%の順で、「市長への手紙」と「直接市役所へ」を合わせると三六・五%となり、三人に一人は直接市へ意志表示をしていることとなります。

まず第一に
安心できる医療体制を

問-4

今後、あなたが市に特に力を入れてほしいものは何ですか。(複数回答)

回答は要望の多い方から「医療」「福祉」、「道路」、「下水道」、「公害」の順となりました。

前回調査との比較では、「自然保護」が二・八%から七%に、また「社会福祉の充実」が七・六%から十一・二%にと伸びが目立っています。

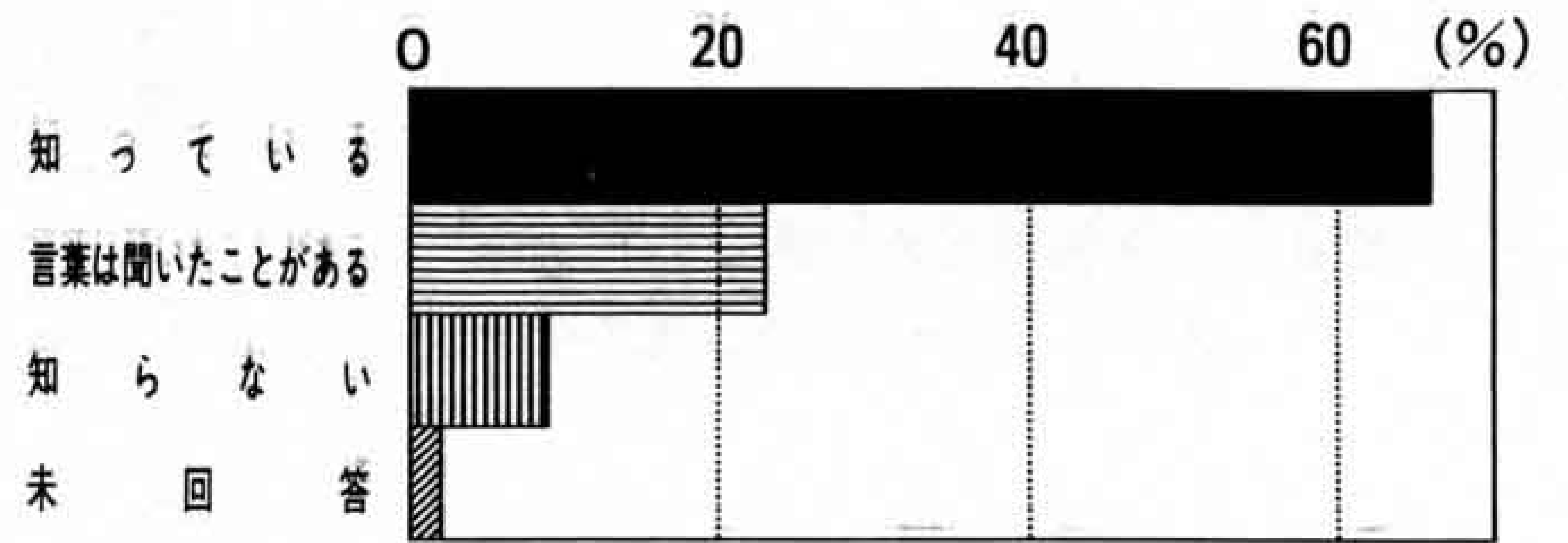
回答者の御意見

- ・ JR新富士駅周辺の区画整理を早急に実現してほしい。
- ・ サラリーマンの多い町です。もっと市営住宅を建ててください。
- ・ 市は、古紙や牛乳パック等のリサイクルに力を入れてほしい。
- ・ 二十万都市にしては、病院の数が少ない。沼津や蒲原の病院に市民が通っているのが現実です。
- ・ 最近転入してきましたが、どこへ行くにも車でなければ行けないのには驚いてしまいます。
- ・ 市外から帰ってくると、空気の悪さを改めて感じます。
- ・ 「自然保護」が、人間のための「自然保護」にならないように。

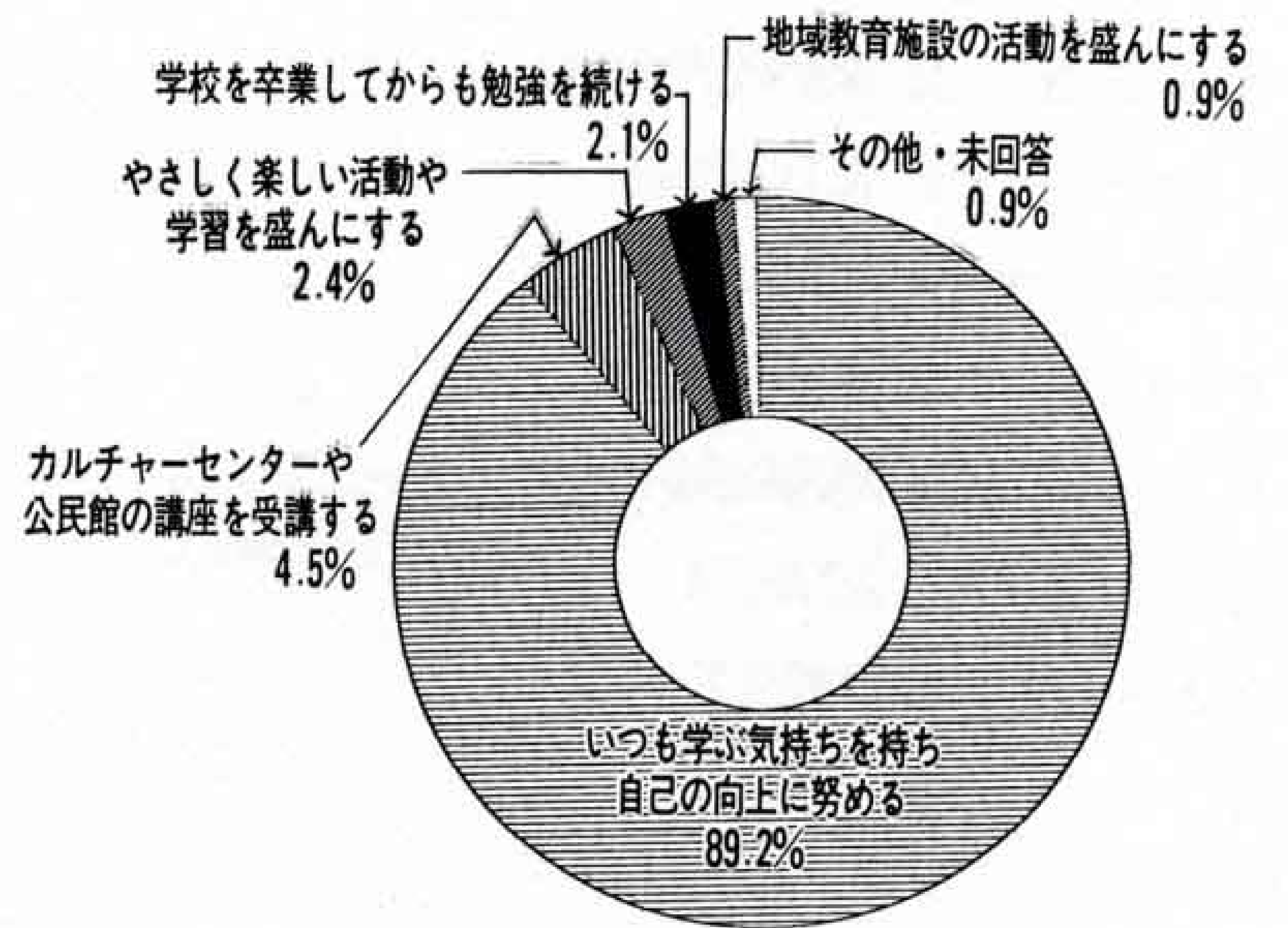


は上昇気流!

問1 あなたは「生涯学習」という言葉を知っていますか。



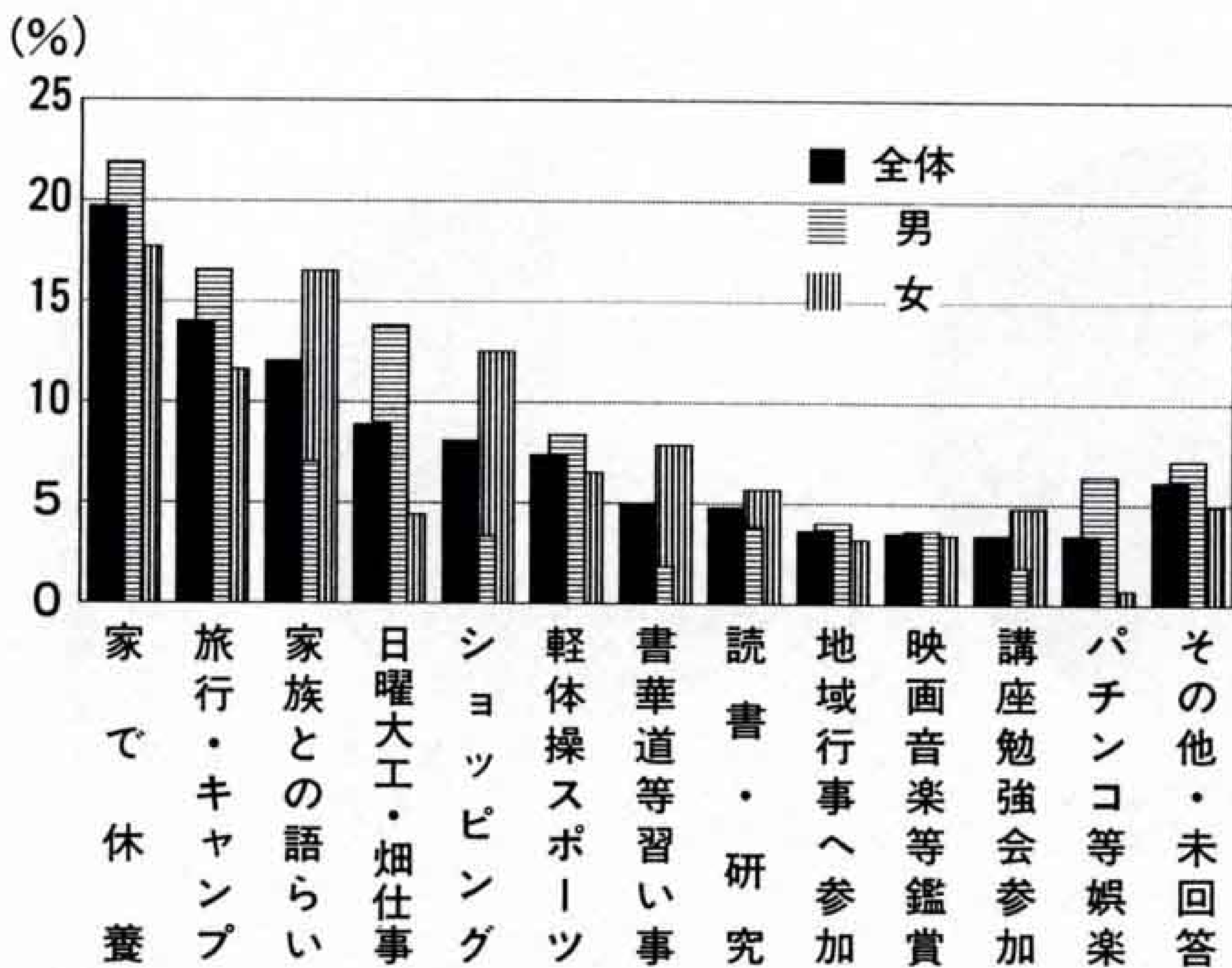
問1-1 「知っている」と答えた方に伺います。あなたはどのように理解していますか。



問2

あなたは、余暇時間を主にどのような過ごしをしていますか。

【男女別】



テーマ 生涯学習について

情報化、国際化、高齢化などの社会変化は、一方で余暇時代を私たちにもたらしました。こうした社会情勢に対応しながら、生き甲斐のある充実した生活を送るにはどうしたらよいのでしょうか?…今、生涯学習の必要性が叫ばれています。

ショーガイガクシユーって何だろう?

問-1・問1-1

あなたは「生涯学習」と言う言葉を知っていますか。「知っている」と答えた方に伺います。あなたはどのように理解していますか。

回答で「知っている」と答えた人は六五・九%でした。また「生涯学習」の意味については、八九・二%の人が「いつも学ぶ気持ちをもって、生涯にわたり自己の向上に努める」と答えています。

私の余暇スタイル教えます

問-2

あなたは、余暇時間を主にどのように過ごしていますか。(複数回答)

余暇スタイルでトップは「家で休養」の一九・七%、次いで「旅行・ドライブ」一四%、「家族・友人との語り」一二%となっています。また、男女別では、男性が「家で休養」、「旅行」、「日曜大工」、「パチンコ」など、女性は「家族との語り」、「ショッピング」、「習いごと」などがそれぞれ全体を大きく上回っています。

学級・講座への参加は女性に軍配

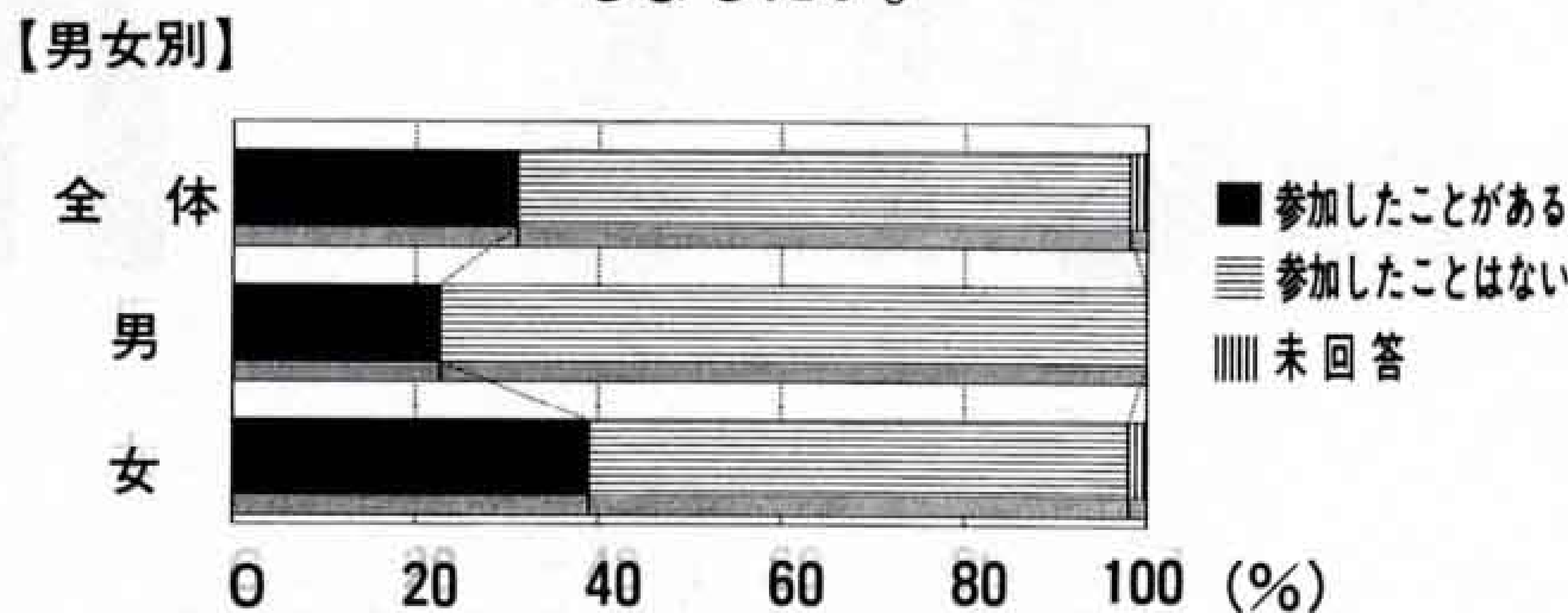
問-3

あなたは、この一〜二年間に趣味や教養などの学級・講座に参加しましたか。

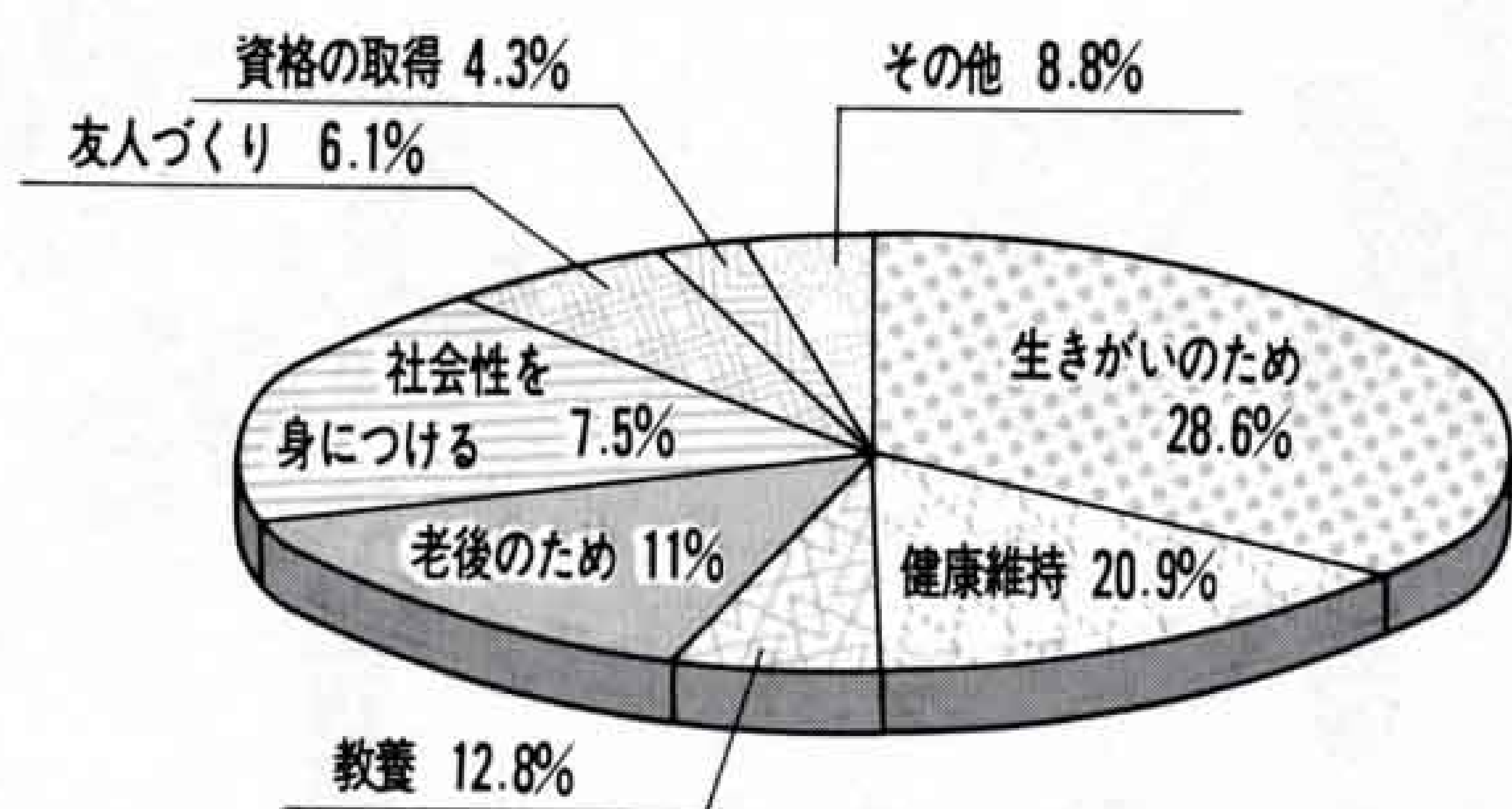
「参加したことがある」は全体で三一・二%でした。しかし、これを男女別で見ると、男性二二・七%に対して女性三九%と、学級・講座への参加は、女性が男性の一・七倍にも達しています。



問-3 あなたは、この1~2年間に趣味や教養などの学級・講座に参加しましたか。

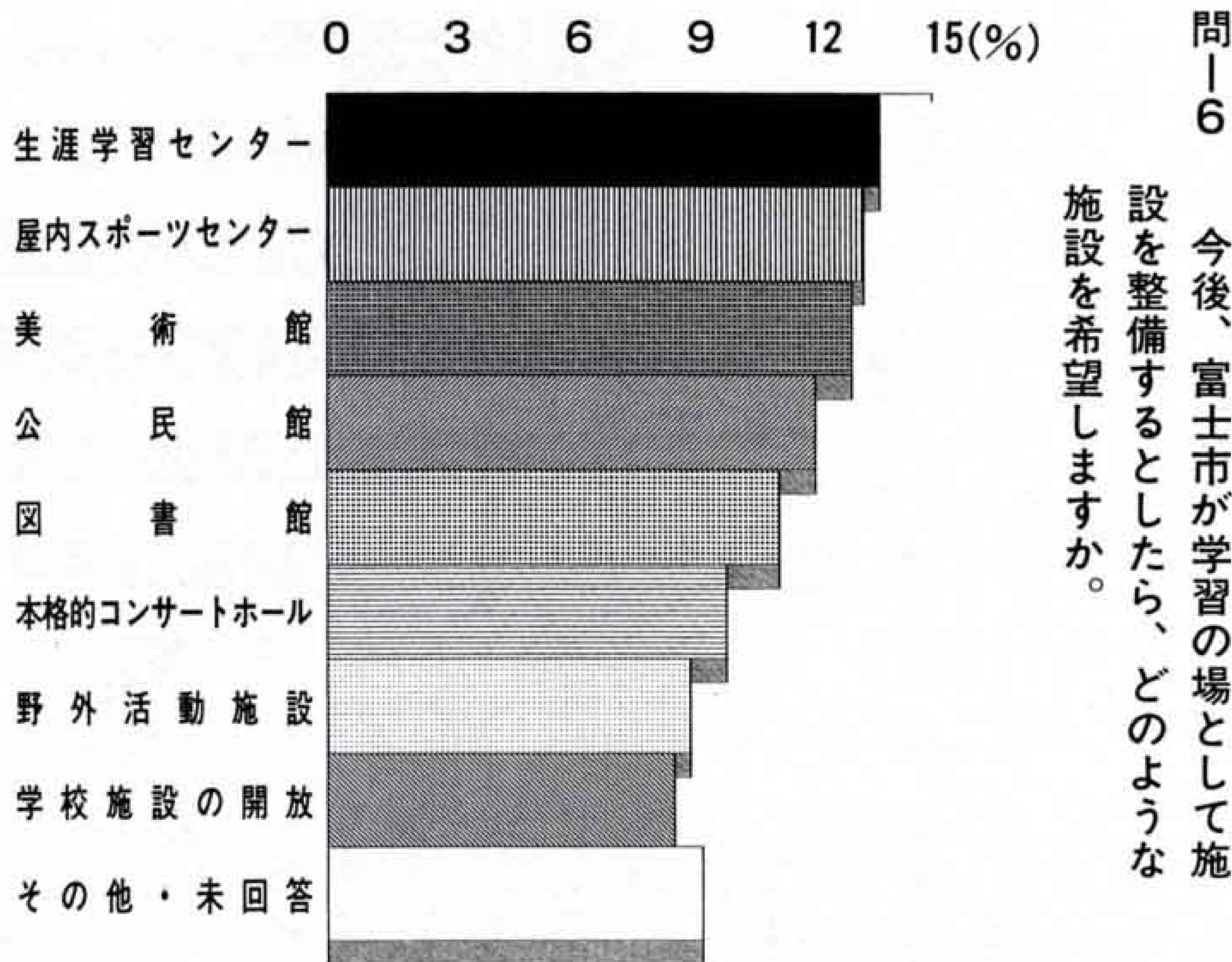
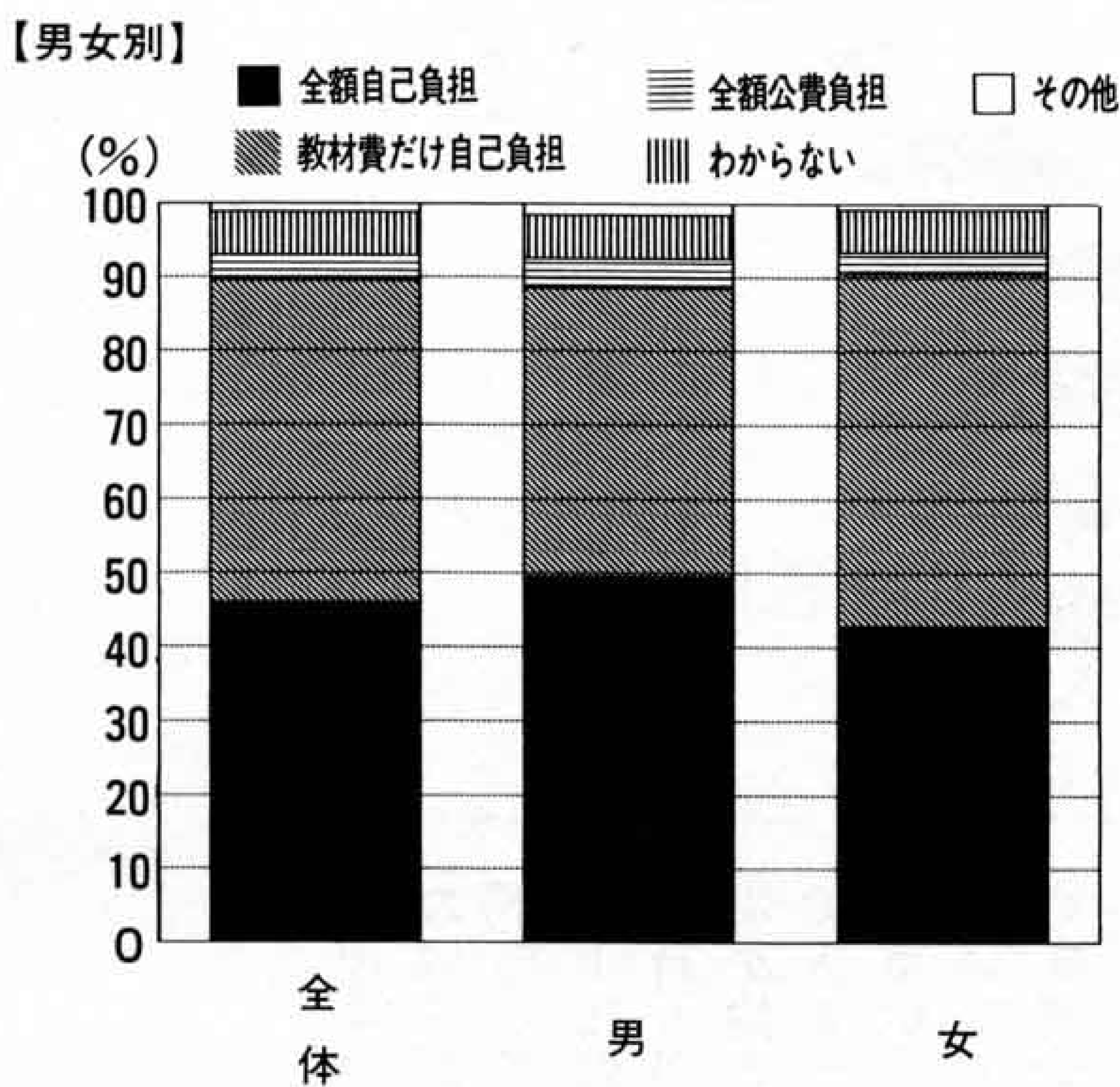


問-4 あなたが、学級・講座に参加した理由は何ですか。



ちよつと気分

問-7 公共の学級・講座の参加者が、受講料や教材費を負担する受益者負担制度をあなたはどのように思いますか。



問-6 今後、富士市が学習の場として施設を整備するとしたら、どのような施設を希望しますか。

回答者の御意見

- ・ 公民館などで行っている学級や講座は身近で大変便利です。
- ・ 公民館学級にもっと学校の先生を活用してはどうですか。
- ・ 健康であってこそ、学級に取り組む意欲も出ると思います。
- ・ 生涯学習は、行政主導である

- ・ 必要はなく、個々の生活パターンに応じて選択すればよい。
- ・ 交通の便が悪く講座等への参加ができません。残念です。
- ・ もっと市民が楽しみ、関心をもって参加できるようなPR方法を考えてください。

参加したことの無い人(全体の六八・五%)に、参加意欲を尋ねたところ、「是非参加したい」五・三%、「できれば参加したい」五四・三%となり、約六割の人が参加意欲をもっていました。

回答は「参加者の受講料・教材費の負担は当然だ」四六・五%、「受講料は公費で、教材費は事故負担」四三・五%、「両方とも公費でまかなうべきだ」三・四%の順という結果でした。

問-5

問三で「参加したことがない」と答えた方に伺います。あなたは、今後学級・講座に参加する気持ちはありますか。(図表は省略)

チャンスがあれば

学習に参加したい

学級や講座への参加理由の第一は「生きがいのため」で二八・六%、続いて「健康・体力づくり」二〇・九%、「教養を高める」一二・八%の順でした。これは、男女別、年齢別でも同じ傾向でした。

問-4

あなたが、学級・講座に参加した理由は何ですか。

一に生きがい、二に健康それから教養を

問-7

公共の学級・講座の参加者が、受講料や教材費を負担する受益者負担制度をあなたはどのように思いますか。

受講料や教材費は

大切な問題

希望する学習施設としては「生涯学習センター」、「屋内スポーツセンター」、「美術館」、「公民館」の順でしたが、差は余りなく、学習や活動に対する市民ニーズの多様化がうかがわれます。

問-6

今後、富士市が学習の場として施設を整備するとしたら、どのような施設を希望しますか。(複数回答)

生涯学習センター
美術館も欲しい